

2024年7月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が底打ちとなっている一方で、消費関連が足踏みとなっている。また、観光関連、投資関連、雇用情勢は横ばい、畜産関連が弱含んでいる。足元では、物価上昇の影響がみられるなど、全体として回復の勢いがやや鈍化しつつある。

生産活動は、4月の鉱工業生産指数が2か月連続で前年を上回った。電気・情報通信機械は前年を下回ったが、食料品、窯業・土石製品、電子部品・デバイスは前年を上回った。

畜産関連では、6月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4ともに前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場も前年を下回った。一方、豚肉は前年を上回った。

個人消費関連は、5月の乗用車新車登録台数、ドラッグストア販売額、6月の軽自動車届出台数は前年を上回った。一方で、5月の家電大型専門店販売額は前年を下回り、5月の百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額は前年をやや下回った。

観光関連では、6月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を下回ったものの、前年宿泊療養施設だった先を含めると、5か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を下回り、奄美地区は4か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を下回ったものの、民間建築工事費予定額、住宅着工戸数は前年を上回った。

雇用情勢は、5月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.17倍となった。

【生産活動】... 底打ち

電子部品関連は、5G関連の需要が回復しない一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きもみられる。

5月の焼酎生産は、3か月連続で前年を上回り、出荷量は4か月ぶりに前年を上回った。

3月のかつお節生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

6月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが2か月連続で前年を下回り、民間工事向けは9か月連続で前年を下回り、全体では5か月連続で前年を下回った。

6月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

6月の子牛の出荷頭数、価格ともに前年を下回った。6月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5が7.2%減で4か月連続で前年を下回り、去勢A4が8.7%減で4か月連続で前年を下回った。5月の枝肉生産量は前年を下回った。

6月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は8.0%増と3か月連続で前年を上回った。5月の枝肉生産量は前年を上回った。

6月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は16.4%減と10か月連続で前年を下回り、むね肉は11.8%減と8か月連続で前年を下回った。6月の処理羽数はほぼ前年並みだった。

6月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は42.7%減と8か月連続で前年を下回った。5月の配合飼料価格は11か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... 足踏み

5月の百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が前年をやや下回り、衣料品は前年を下回り、全体では前年をやや下回った。

5月の専門量販店販売額は、ドラッグストアは前年を上回ったが、家電大型専門店は前年を下回り、コンビニエンスストアは前年をやや下回った。

5月の乗用車新車登録台数は、5か月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は7.1%増、小型車が4.9%減となった。

6月の軽自動車届出台数は7か月ぶりに前年を上回った。

【観光関連】... 横ばい

6月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、2か月連続で前年を下回った。九州、関西、関東、中部などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少した。ただし、前年鹿児島地区の宿泊療養施設だった先を含めると、5か月連続で前年を上回った。

鹿児島地区は、中国などからの入り込みや個人客が増加し、2か月ぶりに前年を上回った。また、前年宿泊療養施設だった先を含めると、5か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関西などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、関東、九州、関西などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を下回り、奄美地区は4か月連続で前年を下回った。

6月の主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... 横ばい

6月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

5月の民間建築工事着工は、棟数は前年をやや下回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を上回った。

5月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家が前年を下回ったものの、分譲が前年を上回り、全体では2か月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均はほぼ前年並みとなった。

5月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、ほぼ前年並みだった。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回った一方、輸入額は前年を下回った

5月の輸出額は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回り、全体では51.1%増と8か月連続で前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品、原油及び粗油が前年を下回り、全体で18.7%減と4か月ぶりに前年を下回った。

【雇用情勢】... 横ばい

5月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.17倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売は前年を下回り、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

4月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.7%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を下回った

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が5件で前年同月（7件）を5か月連続で下回った。また、負債総額は3億26百万円で前年同月（10億55百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)